



YAMATO  
HOLDINGS

# ヤマトグループ連結決算概要

< 2021年3月期 通期 >

2021年4月30日



# 1. 2021年3月期決算（総括）

## 2021年3月期通期の連結業績は、「増収増益」

連結営業収益：1兆6,959億円（前期差 + 1,064億円 伸率 + 6.7%）

連結営業利益： 921億円（前期差 + 480億円 伸率 + 108.9%）

※前期差および伸率は連結決算適用範囲変更（ヤマトリース株式会社）の影響控除後

- 2021年4月の「Oneヤマト」新体制に先行して、バーチャルにグループの経営資源を結集し多様化するお客様のニーズに応えられる体制で提供価値の最大化を推進

⇒消費行動の変化による「全産業のEC化」に対して、最適解を追求

⇒全国の輸配送ネットワークと拠点ネットワークを有機的に組み合わせて法人顧客の課題解決を推進

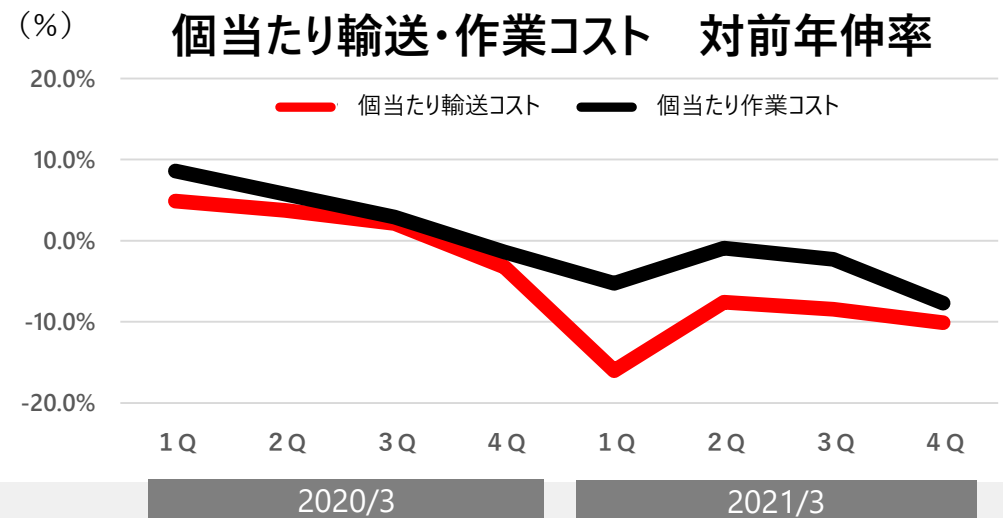
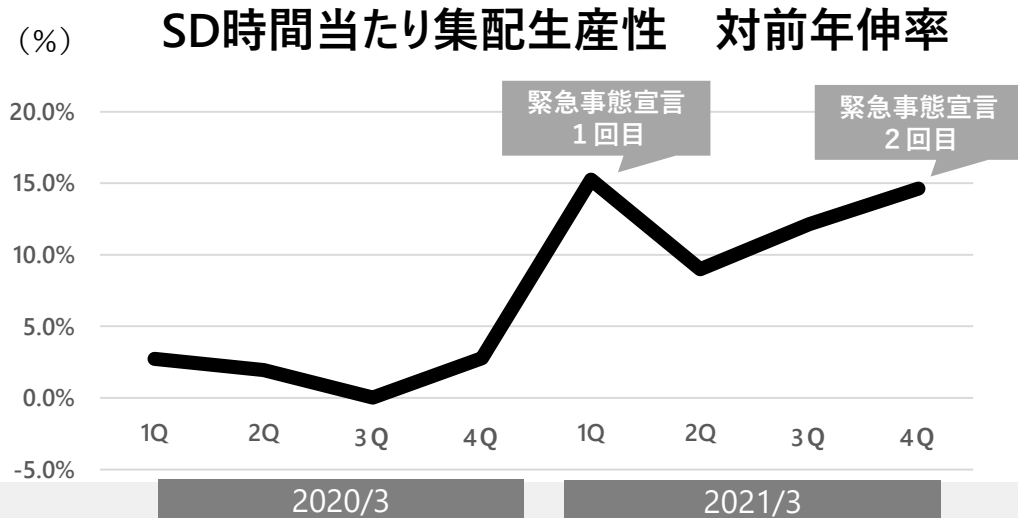
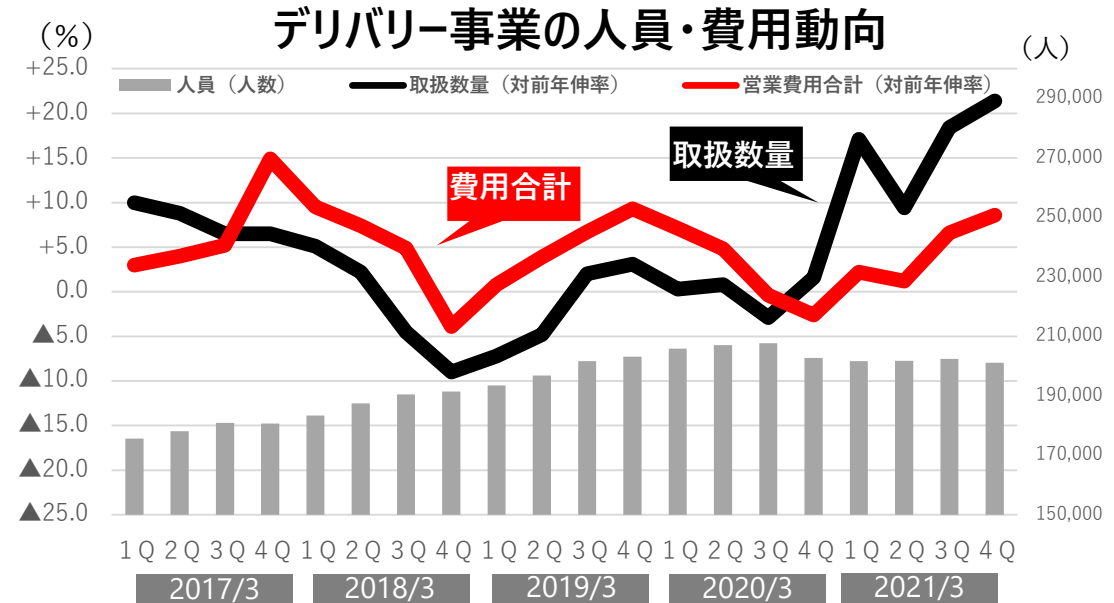
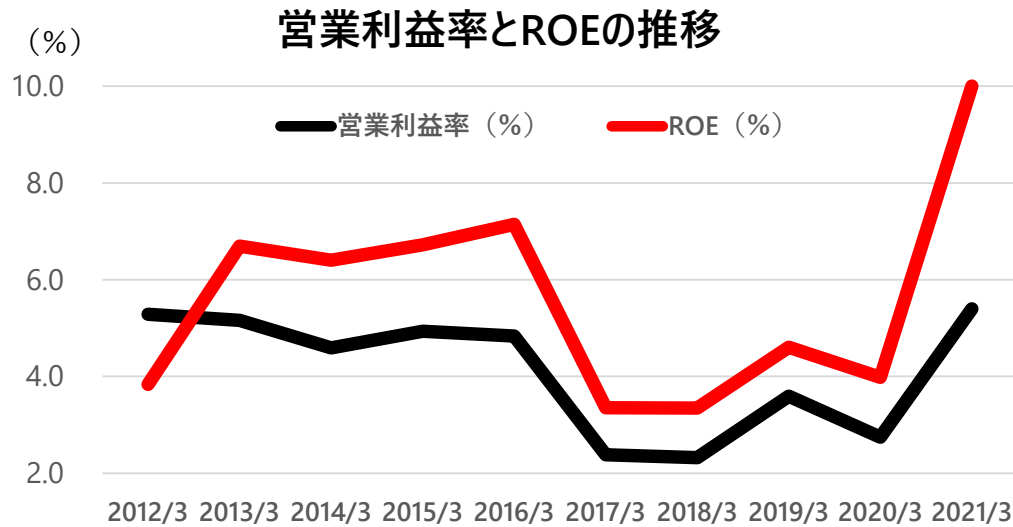
- データ・ドリブン経営に転換

⇒データ分析による業務量予測に基づいた経営資源の最適配置とコスト適正化を推進

**不確実な環境下において、経営構造改革を着実に推進し、収益力を回復**

# 2. 2021年3月期決算（総括）

変化する顧客ニーズに応え営業収益を拡大するとともに、データ分析に基づく経営資源の最適配置によりコストを適正化

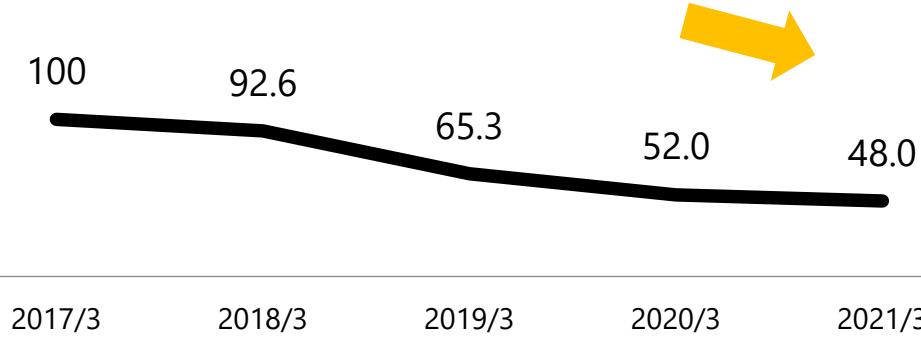


# 3. 2021年3月期決算（総括）

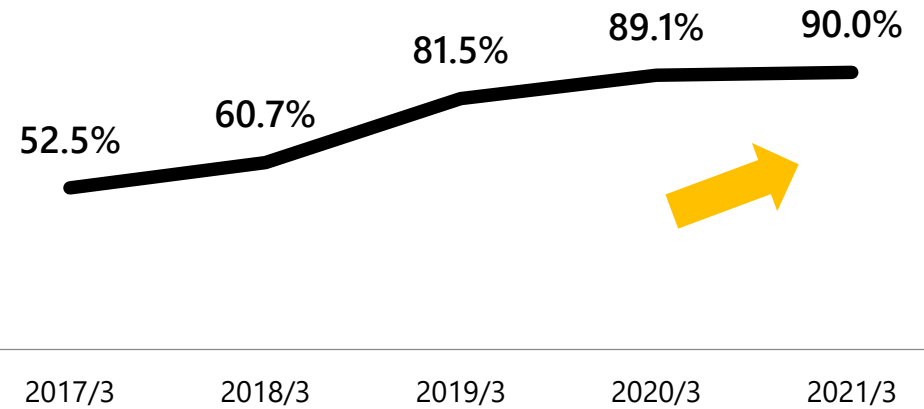
## サステナブル経営を推進し、労働環境を維持・向上

### 1人当たりの残業時間は減少

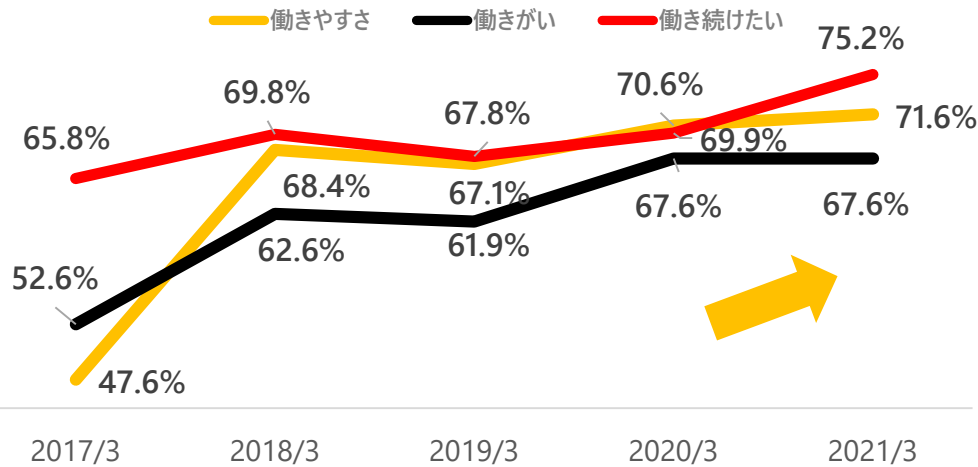
(2017年3月期の1人当たりの残業時間を100とした場合、半減している)



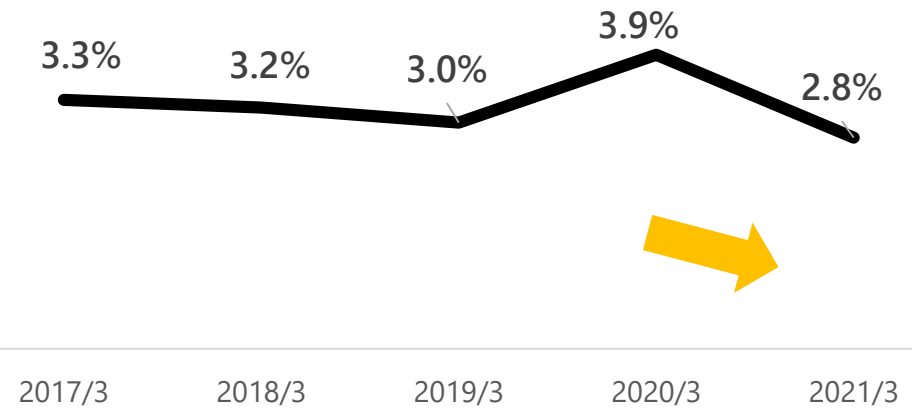
### 1人当たり年次有給休暇取得率は上昇



### 働き方意識調査は上昇傾向



### 退職者の比率は低減



# 4. 2022年3月期～「Oneヤマト2023」の事業体制

- ・顧客起点で経営資源を最適配置
- ・グループが持つ経営資源を組み合わせ、全体最適な提案で顧客の課題を解決

部門・本部		顧客	主な経営資源		提供価値
法人部門	リテール事業	個人・一般法人	セールスドライバーを中心としたラストマイルネットワーク		ユニバーサルサービス（宅急便）を中心としたパッケージサービスの提供
	EC事業	EC事業者・EC利用者・配送事業者	EAZY CREWによるEC配送ネットワーク	ECフルフィルメントセンター・ソートセンター	
	法人事業	特定法人	ミドルマイルネットワーク	ディストリビューションセンター	
	グローバルSCM事業	特定法人	海外ネットワーク	フォワーディング・通関	法人顧客や業界全体のサプライチェーン最適化により経営課題の解決を支援

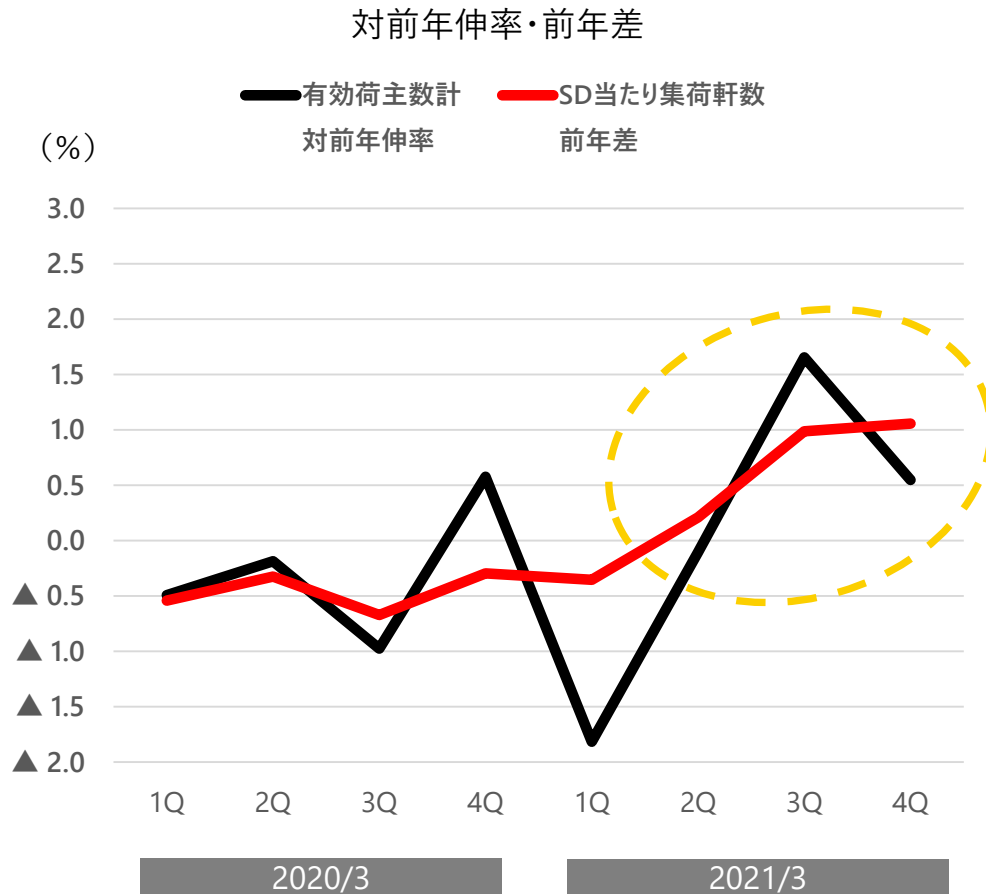
共通（輸送・拠点・デジタル・事務等）

輸送機能 デジタル機能 プラットフォーム機能 プロフェッショナル機能	事業本部が向き合う 全てのお客様	グループの物流の核を担う輸送・作業機能 業務・サービスのデジタル化とデータが活用しやすい仕組み創り クロネコメンバーズ・ヤマトビジネスメンバーズなどの便利な仕組み創り 間接業務の集約・マネジメントによる、事業の第一線がお客様に集中できる環境創り	事業本部の競争優位を創出
---	---------------------	---	--------------

# 5. 「リテール部門」リテール事業本部の価値提供

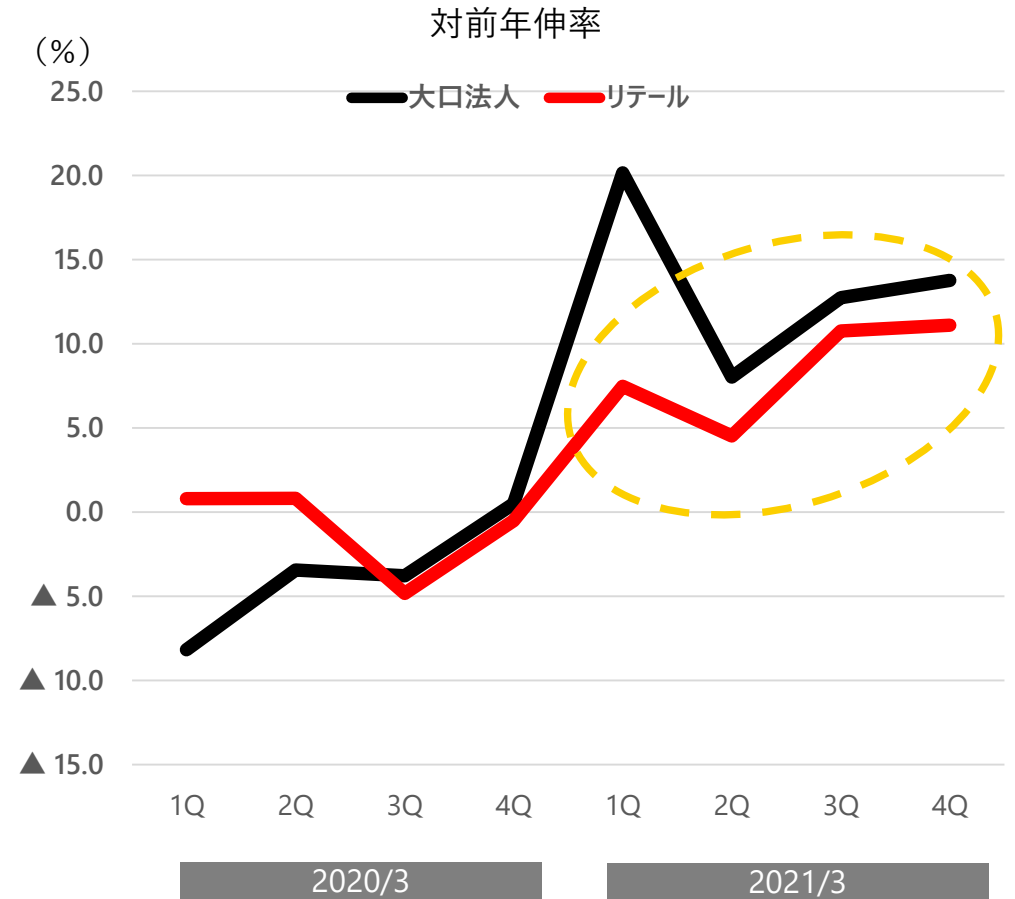
- ・ユニバーサルサービスである宅急便の安全・品質・生産性を磨き、リテールニーズに持続的に対応
- ・SDの営業情報を法人部門と共有し、連携してお客様に向き合う

SD稼働当たり集荷軒数・有効荷主数\*推移



\*有効荷主数：小口商流で実際に出荷のあった顧客の数

宅配便（宅急便・EAZY・コンパクト）市場別推移



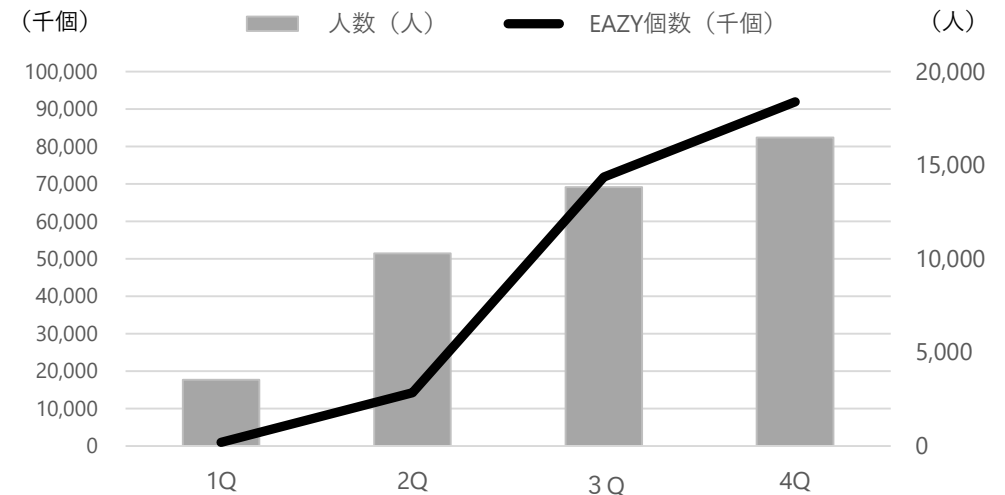
# 6. 「法人部門」EC事業本部の価値提供

デジタルとリアルを組み合わせ、EC配送ネットワークの拡大と効率化、受け取り利便性の向上、EC事業者や販売者に向けたソリューションの提供によりECの成長を取り込む

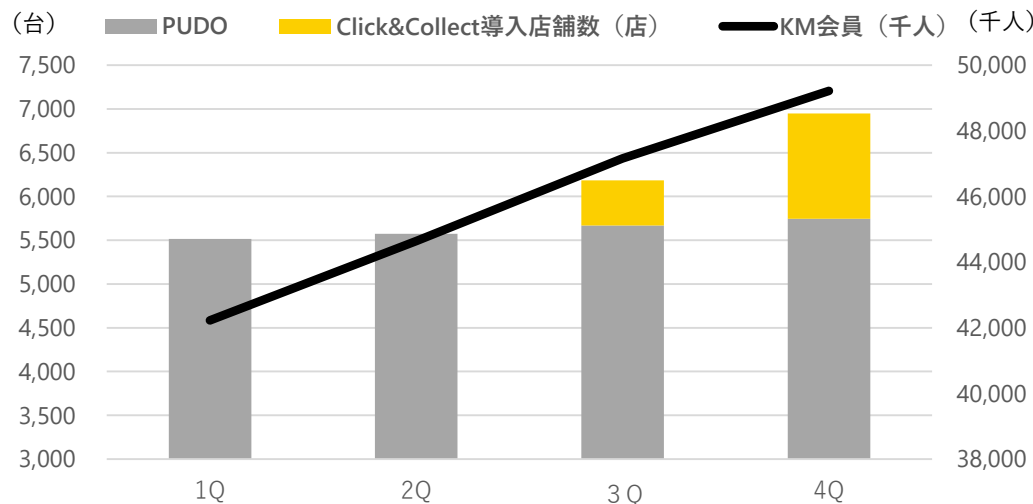


- ✓ 対面、玄関ドア前、宅配ボックスなど、多様な受け取り方法を選択可能
- ✓ 配達直前まで、受け取り方法の変更可能

EAZYCREW登録人数、EAZY個数の推移



PUDO・Click&Collect店舗数・クロネコメンバーズ (KM)会員数の推移



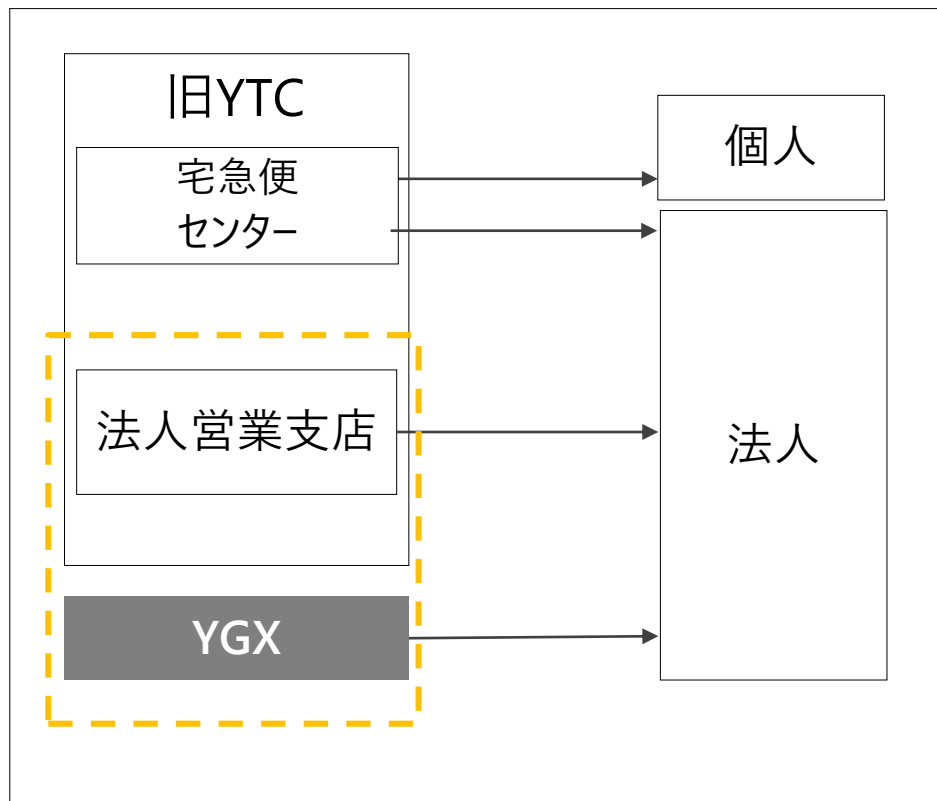
## EC事業者向けソリューション

- ✓ 海外事業者： 越境EC
- ✓ ECプラットフォーム： 上流工程の効率化
- ✓ ECストア： フルフィルメント・ピック & デリバリーサービス
- ✓ 生産者： ライブコマースによる販路拡大支援

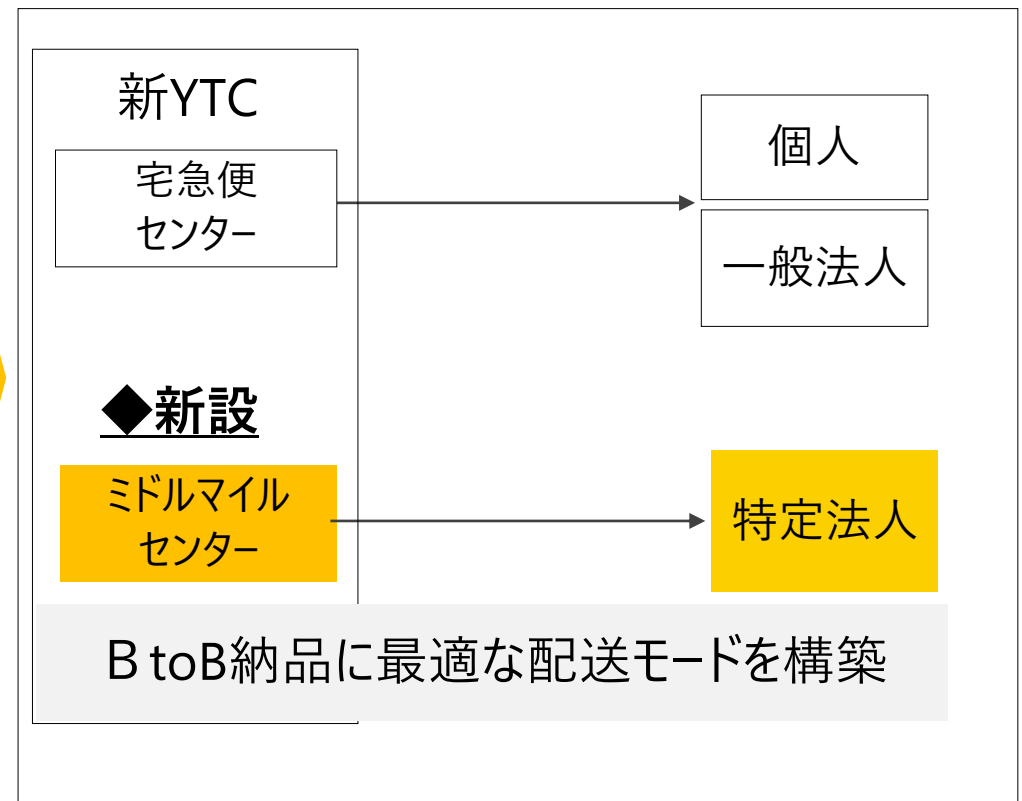
# 7. 「法人部門」法人事業本部の価値提供

- ・ヤマト運輸（YTC）法人営業支店とヤマトグローバルエクスプレス（YGX）の法人向け配送ネットワークを、サプライチェーンの中上流のニーズに応えるミドルマイルネットワークに改編（2021年4月から本格稼働を開始）

Before [機能別体制]



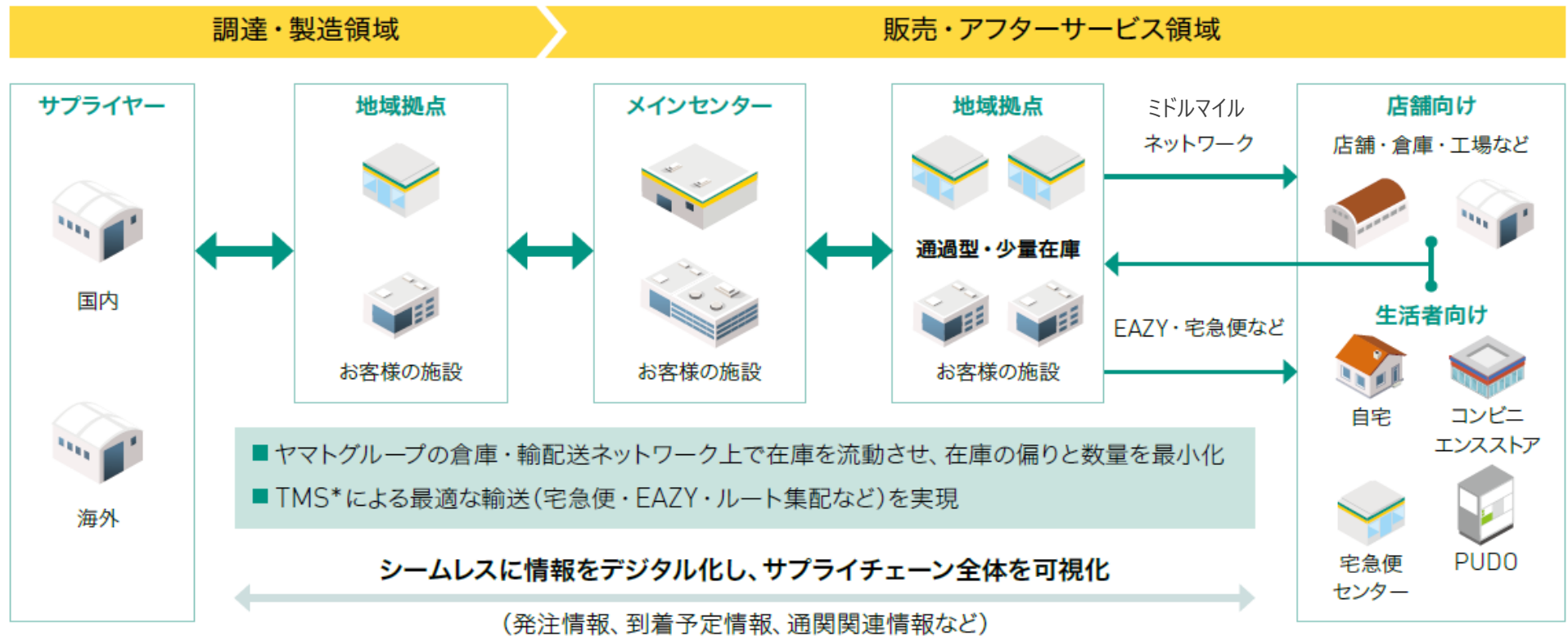
After [Oneヤマト体制]





# 8. 「法人部門」グローバルSCM事業本部の価値提供

- ・宅急便・EC配送・ミドルマイルネットワークと拠点ネットワークを有機的に組み合わせ、物流の効率化のみならず、店舗やECの運営に係るバックヤード業務の効率化や、販売機会ロスの削減、在庫の最適化など、サプライチェーン全体にわたる価値を提供
- ・ロクシタンジャパン様との戦略的パートナーシップ締結など、具体的な成果を創出



サプライヤー・ベンダー	販売者	店舗・生活者
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出荷作業の平準化、簡素化</li> <li>■ 在庫最適化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 流通コストの最小化</li> <li>■ 多様かつ変化が激しい需要に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販売スペースを最大化できる(ショールーム化)</li> <li>■ 多様な買い方が可能になる</li> </ul>

\* TMS : Transport Management System

## 9. 2022年3月期の課題

### ・持続的な成長基盤の確立に向け、「Oneヤマト2023」の9つの主要取組事項を 全社一丸で取り組む

#### ① ボトムラインの着実な成長

- ・ 引き続き、データ・ドリブン経営による業務量予測の精緻化による集配、幹線輸送のさらなる効率化に加え、作業・事務領域の効率化などの業務プロセスの抜本的な見直しを推進
- ・ 拠点戦略の見直しなど、経営資源の最適配置を一層進展  
⇒ コスト適正化を推進し、ボトムラインの着実な成長を実現していく

#### ② 法人部門を中心としたトップライン成長

- ・ 全国の輸配送ネットワークと拠点ネットワークを有機的に組み合わせ、ラストマイルから上流に昇りEnd to Endで最適なソリューション提供を推進
- ・ 「リテール部門」と「法人部門」が連携し、ラストマイルで培った豊富な顧客基盤と顧客接点を活かすことで、あらゆる規模の法人顧客に最適なソリューションを提供

#### ③ サステナビリティへの取り組み強化

- ・ サステナブル中期計画2023に取り組み、社会インフラの一員として、社会課題の解決に向けた物流のエコシステムを創出し、社会と事業の持続可能な発展を目指す

# 10. 2022年3月期 連結業績予想

(億円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比較	
			増減	伸率 (%)
営業収益	16,958	17,750	+792	+4.7
営業利益	921	950	+29	+3.1
利益率	5.4%	5.4%	-	-
経常利益	940	950	+10	+1.1
利益率	5.5%	5.4%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	567	530	▲37	▲6.5
利益率	3.3%	3.0%	-	-

配当 (円)	中間	16	23	+7	-
	期末	30	23	▲7	-
	合計	46	46	0	-

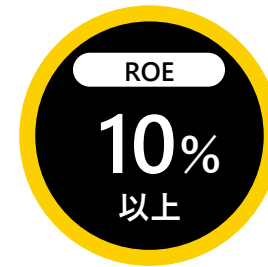
# 11. 資本政策

## 1 基本的な考え方

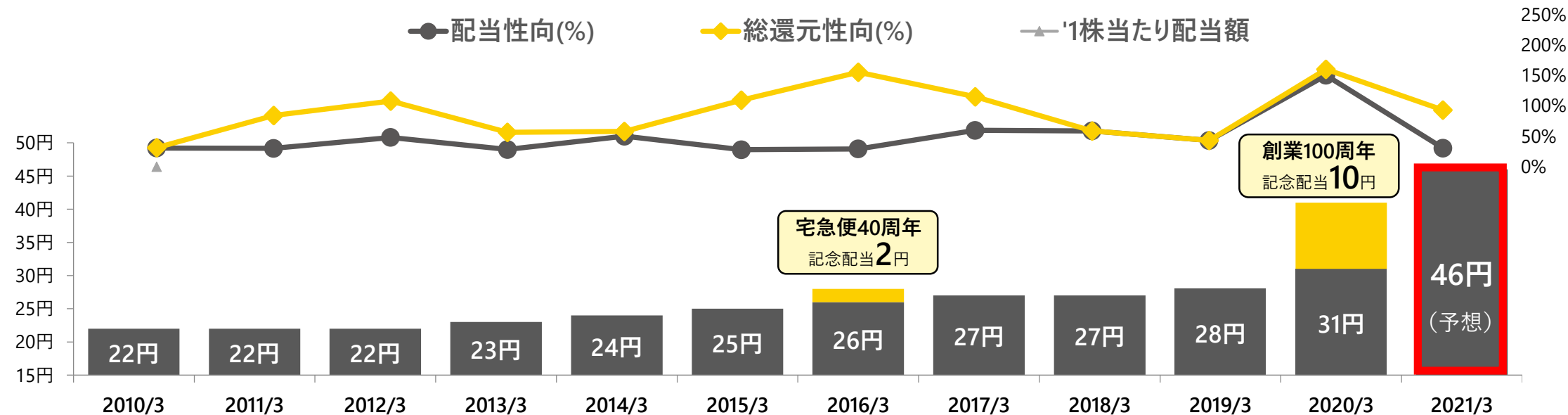
成長性（営業収益）と収益性（営業利益率）および、財務の健全性（キャッシュ創出状況、保有現預金、自己資本比率の水準）、投資の進捗状況、資本効率等を踏まえ、安定的な配当を基本（DOE※を意識）とした、適時適切な資本政策により、株主価値向上を実現する

※Dividend on equity ratio（株主資本配当率）

## 2 資本政策（主要指標）の目安



### 株主還元



# 12. 2021年3月期連結経営成績

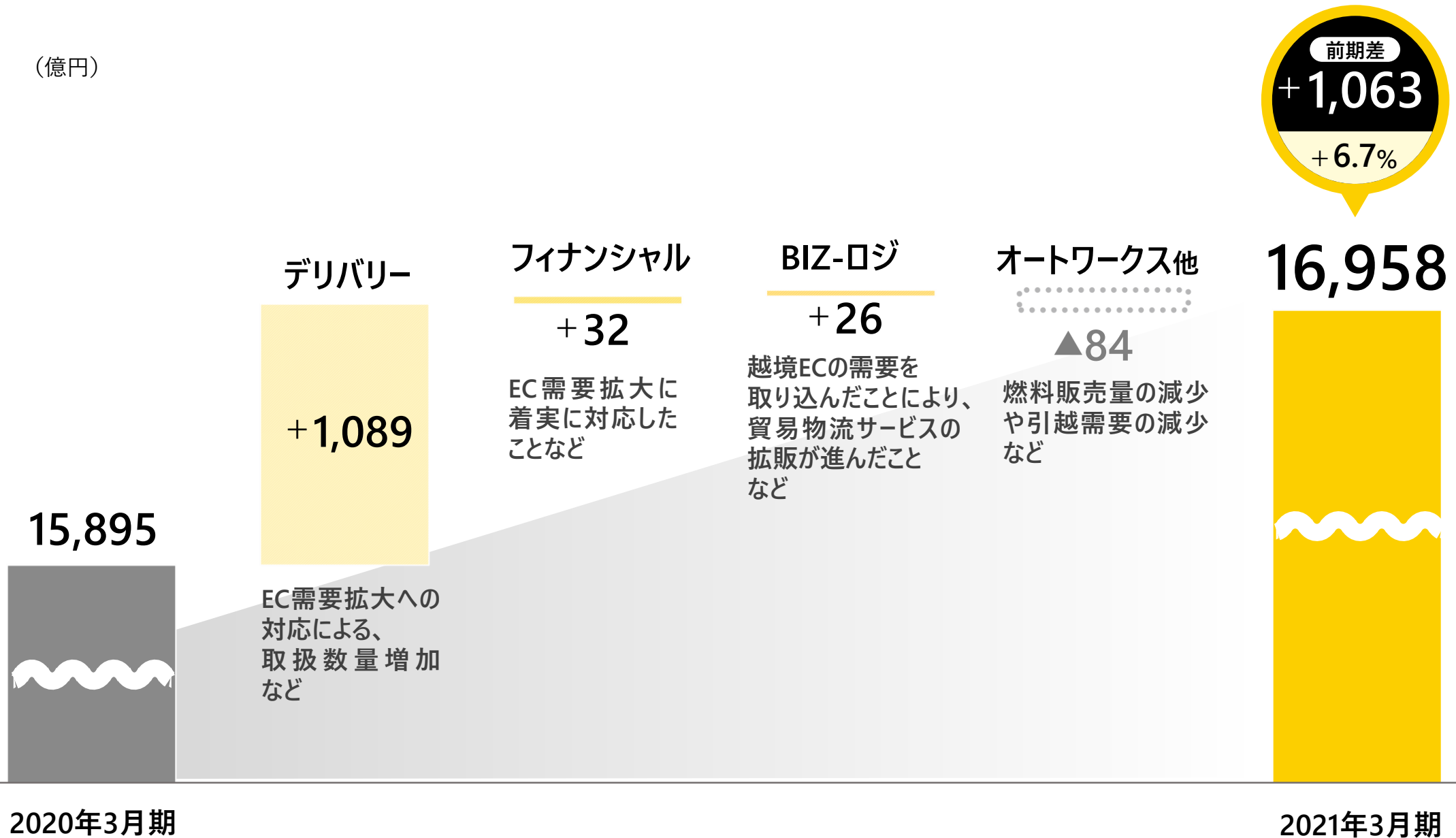
※連結適用範囲変更（ヤマトリース株式会社）の影響控除後

(億円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前期比較		前期比較 (※)	
			増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
			営業収益	16,301	16,958	657
営業利益	447	921	474	+ 106.1	+ 480	+ 108.9
利益率	2.7%	5.4%	-	-	-	-
経常利益	406	940	533	+ 131.4	+ 540	+ 134.9
利益率	2.5%	5.5%	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	223	567	343	+ 154.0	+ 345	+ 156.4
利益率	1.4%	3.3%	-	-	-	-

# 13. 連結営業収益増減分析

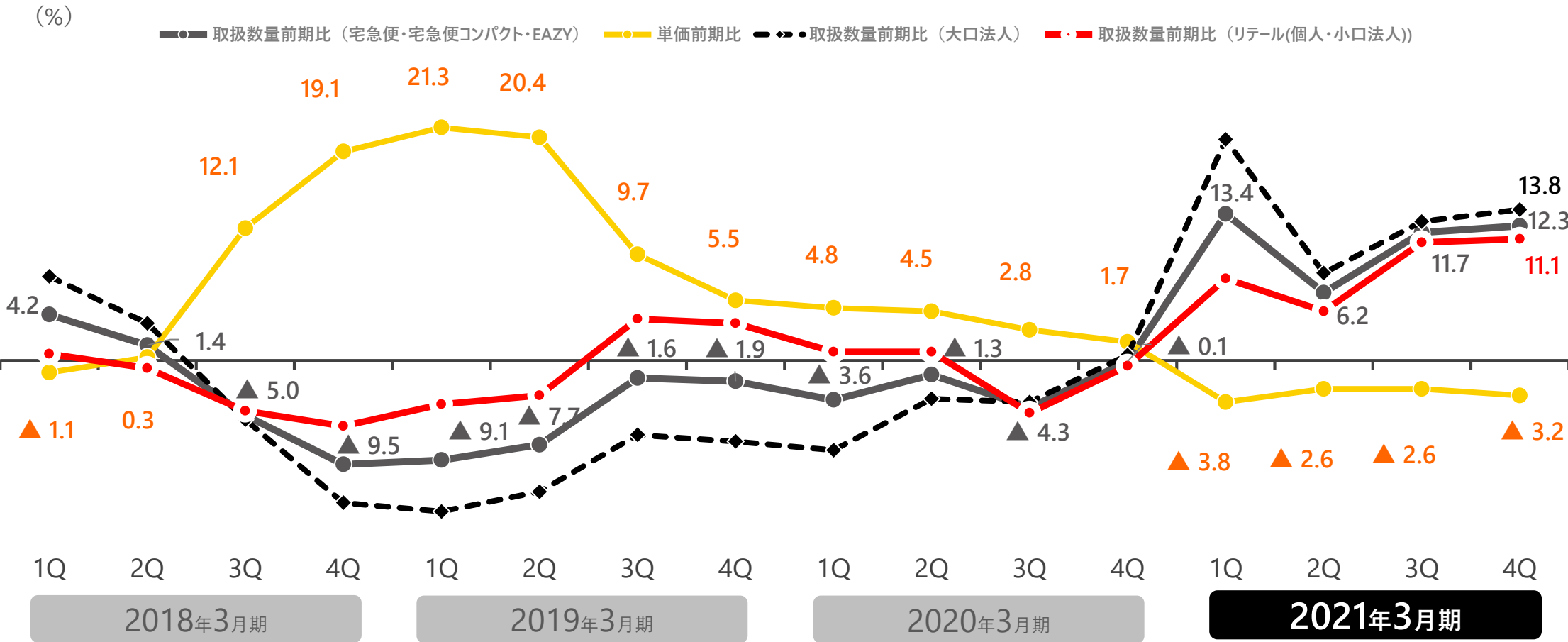
連結適用範囲変更（ヤマトリース株式会社）の影響控除後

(億円)



# 14. 宅配便（宅急便・宅急便コンパクト・EAZY）の動向 第4四半期（1月～3月）

● EC領域を中心にお客様の多様なニーズを取り込んだ結果、取扱数量が増加



- 宅急便
- EAZY
- 宅急便コンパクト

● 前期比 +12.3% 数量

● 前期比 ▲3.2% 単価

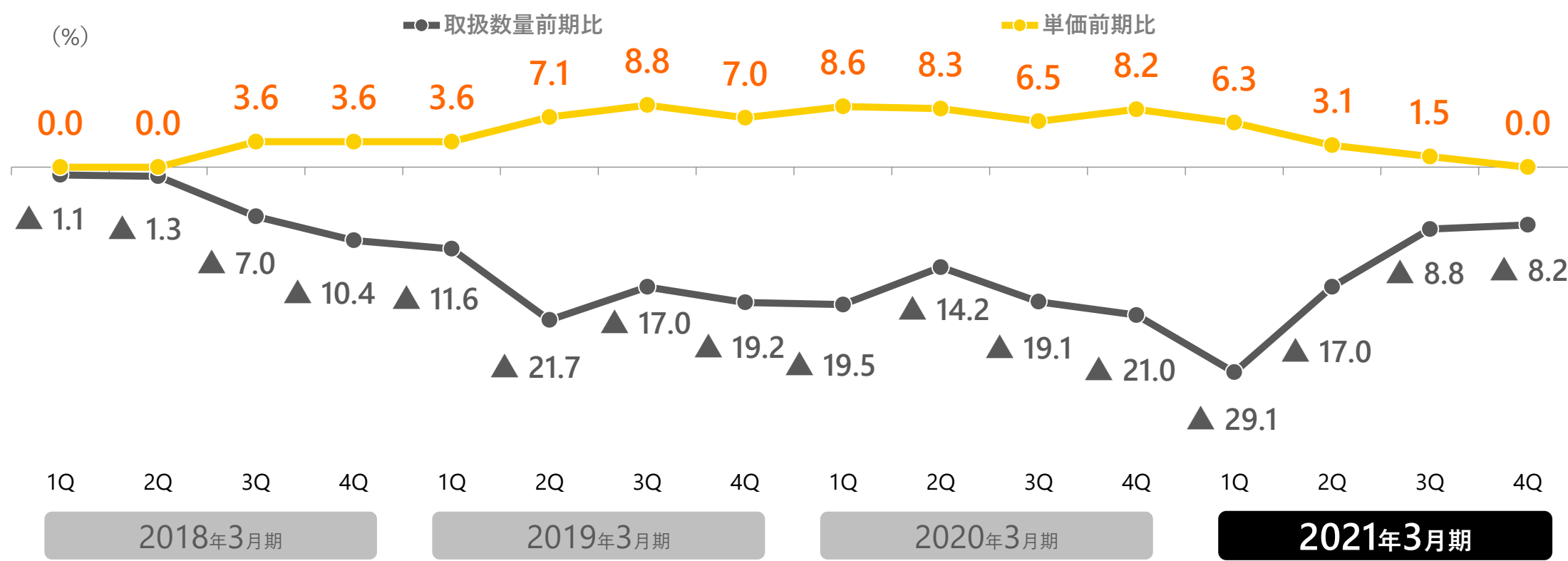
市場別単価 動向

リテール（個人・小口法人） ▲3.5%

大口法人 ▲1.9%

# 15. クロネコDM便の動向 第4四半期 (1月~3月)

DM市場の縮小傾向や新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、取扱数量は減少



前期比  
▲8.2%  
数量

前期比  
±0.0%  
単価

市場別発送 **数量**

宅急便センター発 ▲2.4%  
法人営業支店発 ▲10.3%

市場別発送 **単価**

宅急便センター発 ±0.0%  
法人営業支店発 +0.5%



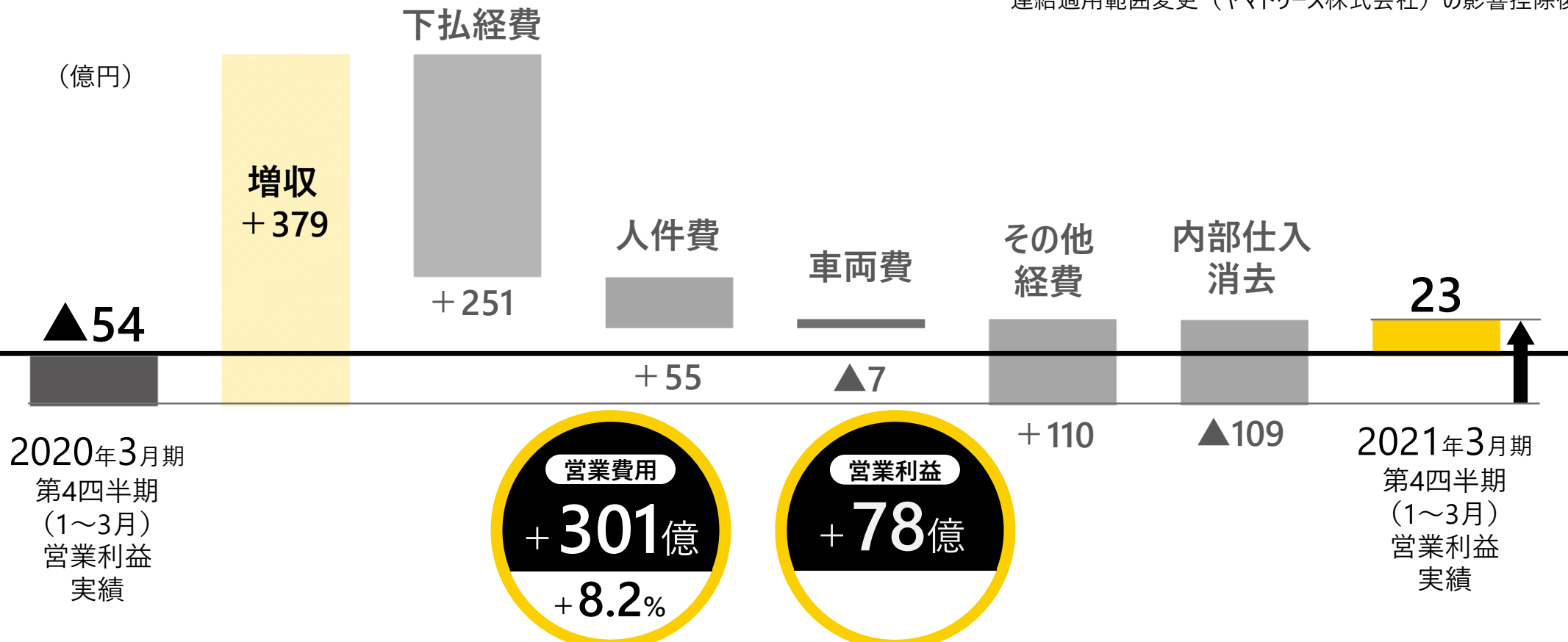
# 16. 連結営業費用総括表 第4四半期（1月～3月）

※連結適用範囲変更（ヤマトリース株式会社）の影響控除後

(百万円)	2021年3月期 第4四半期 前回予想	2021年3月期 第4四半期 実績	前回予想比較		前期比較※	
			増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
			営業収益	384,323	400,191	+15,867
下払経費	140,867	156,871	+16,003	+11.4	+25,159	+19.1
委託費	61,595	70,364	+8,768	+14.2	+17,050	+32.0
備車費	48,017	50,417	+2,399	+5.0	+2,300	+4.8
その他	31,254	36,090	+4,835	+15.5	+5,808	+19.2
人件費	211,439	209,224	▲2,214	▲1.0	+5,595	+2.7
社員給料	145,802	142,882	▲2,919	▲2.0	▲1,181	▲0.8
その他	65,637	66,342	+704	+1.1	+6,776	+11.4
車両費	9,567	9,541	▲26	▲0.3	▲731	▲7.1
燃料油脂費	4,979	4,812	▲166	▲3.4	▲609	▲11.2
その他経費	89,088	95,620	+6,531	+7.3	+11,087	+13.1
減価償却費	13,470	13,332	▲138	▲1.0	▲1,215	▲8.4
合計	450,964	471,259	+20,294	+4.5	+41,110	+9.6
内部仕入消去	▲58,893	▲73,442	▲14,548	-	▲10,996	-
営業費用	392,071	397,817	+5,745	+1.5	+30,114	+8.2
営業利益	▲7,747	2,374	+10,121	-	+7,824	-

# 17. 連結営業費用増減分析 第4四半期（1月～3月）

連結適用範囲変更（ヤマトリース株式会社）の影響控除後



**下払経費**

委託費	+170
傭車費	+23
その他	+58

**人件費**

社員給料	▲11
その他	+67
人件費その他：内訳	
● 賞与関連	+36
● 法定福利費	+7
● 厚生福利費	

**車両費**

燃料油脂費	▲6
車両修繕費	▲1

**その他経費**

減価償却費	▲12
システム関連費用※	+24
施設使用料	+17

※「コンピュータ費」の呼称を「システム関連費用」に変更

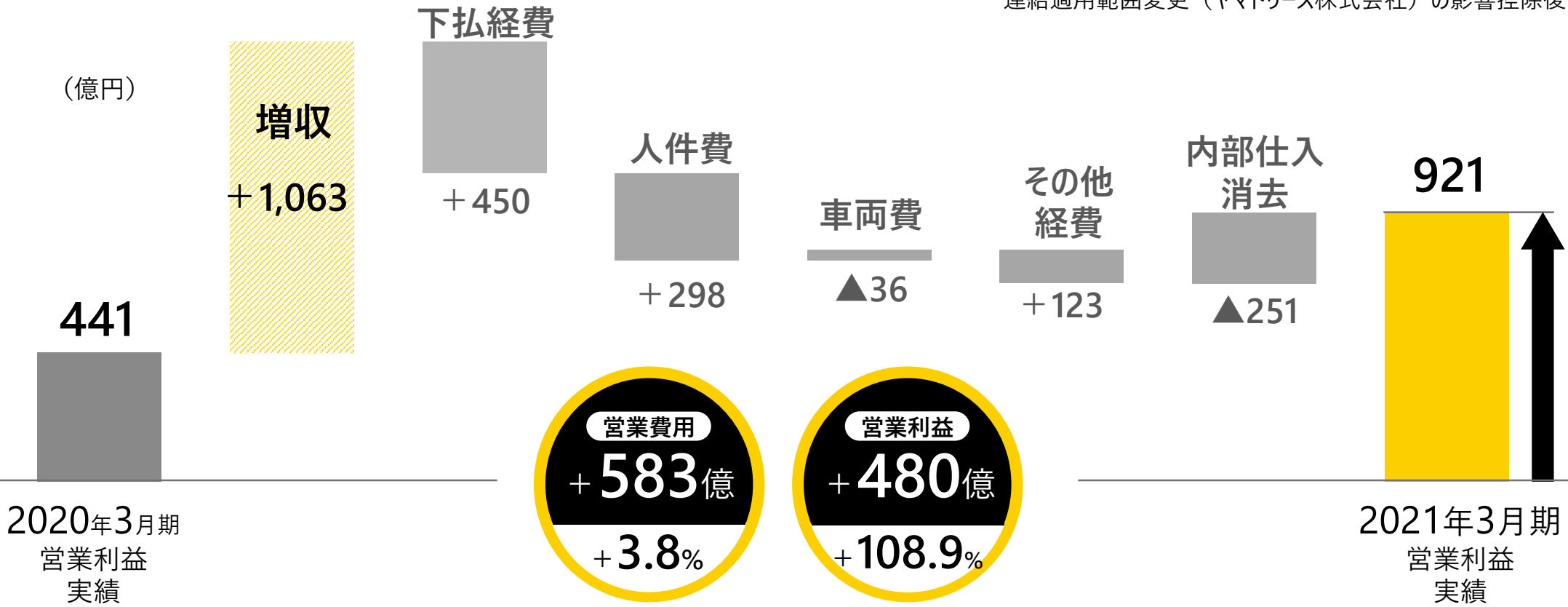
# 18. 連結営業費用総括表 2021年3月期

※連結適用範囲変更（ヤマトリース株式会社）の影響控除後

(百万円)	2020年 3月期	2021年 3月期	前期比較		前期比較 (※)	
			増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
			営業収益	1,630,146	1,695,867	+ 65,720
下払経費	601,833	612,003	+ 10,169	+ 1.7	+ 45,023	+ 7.9
委託費	234,046	268,768	+ 34,721	+ 14.8	+ 34,827	+ 14.9
備車費	203,330	204,399	+ 1,068	+ 0.5	+ 1,068	+ 0.5
その他	164,456	138,835	▲ 25,620	▲ 15.6	+ 9,127	+ 7.0
人件費	849,038	877,785	+ 28,746	+ 3.4	+ 29,818	+ 3.5
社員給料	589,185	590,080	+ 895	+ 0.2	+ 1,590	+ 0.3
その他	259,853	287,704	+ 27,850	+ 10.7	+ 28,228	+ 10.9
車両費	47,676	43,973	▲ 3,703	▲ 7.8	▲ 3,694	▲ 7.7
燃料油脂費	23,634	19,833	▲ 3,801	▲ 16.1	▲ 3,793	▲ 16.1
その他経費	357,561	363,531	+ 5,970	+ 1.7	+ 12,327	+ 3.5
減価償却費	55,083	48,861	▲ 6,221	▲ 11.3	▲ 2,457	▲ 4.8
合計	1,856,111	1,897,294	+ 41,183	+ 2.2	+ 83,475	+ 4.6
内部仕入消去	▲ 270,665	▲ 293,548	▲ 22,883	-	▲ 25,131	-
営業費用	1,585,445	1,603,745	+ 18,300	+ 1.2	+ 58,344	+ 3.8
営業利益	44,701	92,121	+ 47,420	+ 106.1	+ 48,020	+ 108.9

# 19. 連結営業費用増減分析 2021年3月期

連結適用範囲変更（ヤマトリース株式会社）の影響控除後



下払経費	
委託費	+348
備車費	+10
その他	+91

人件費	
社員給料	+15
その他	+282
人件費その他：内訳	
● 賞与関連	+76
● 法定福利費	+144
● 厚生福利費	

車両費	
燃料油脂費	▲37
車両修繕	+0

その他経費	
減価償却費	▲24
システム関連費用※	+61
施設使用料	+35

※「コンピュータ費」の呼称を「システム関連費用」に変更

# 20. 連結営業費用推移表

(百万円)	2020年3月期			2021年3月期											
	第4四半期 (1~3月)			第1四半期 (4~6月)			第2四半期 (7~9月)			第3四半期 (10~12月)			第4四半期 (1~3月)		
	実績	増減	伸率 (%)	実績	増減	伸率 (%)	実績	増減	伸率 (%)	実績	増減	伸率 (%)	実績	増減	伸率 (%)
営業収益	372,422	+4,718	+1.3	392,015	+10,288	+2.7	414,052	▲4,347	▲1.0	489,608	+32,010	+7.0	400,191	+27,768	+7.5
下払経費	140,695	▲6,630	▲4.5	136,564	▲11,176	▲7.6	146,448	▲6,479	▲4.2	172,120	+11,650	+7.3	156,871	+16,175	+11.5
委託費	53,349	▲5,806	▲9.8	58,019	+456	+0.8	63,609	+3,537	+5.9	76,775	+13,713	+21.7	70,364	+17,014	+31.9
備車費	48,116	▲1,388	▲2.8	48,269	▲1,578	▲3.2	49,993	▲1,245	▲2.4	55,720	+1,592	+2.9	50,417	+2,300	+4.8
その他	39,229	+565	+1.5	30,275	▲10,055	▲24.9	32,845	▲8,770	▲21.1	39,624	▲3,656	▲8.4	36,090	▲3,139	▲8.0
人件費	203,898	+2,758	+1.4	218,632	+11,050	+5.3	223,499	+5,334	+2.4	226,428	+7,034	+3.2	209,224	+5,326	+2.6
社員給料	144,236	+3,114	+2.2	144,202	+1,752	+1.2	148,174	+21	+0.0	154,821	+475	+0.3	142,882	▲1,353	▲0.9
その他	59,661	▲356	▲0.6	74,430	+9,298	+14.3	75,325	+5,312	+7.6	71,606	+6,559	+10.1	66,342	+6,680	+11.2
車両費	10,276	+505	+5.2	10,998	▲962	▲8.0	11,522	▲1,028	▲8.2	11,911	▲977	▲7.6	9,541	▲734	▲7.1
燃料油脂費	5,423	+281	+5.5	4,455	▲1,321	▲22.9	5,385	▲1,041	▲16.2	5,179	▲826	▲13.8	4,812	▲611	▲11.3
その他経費	85,927	▲2,774	▲3.1	84,492	▲1,263	▲1.5	87,329	▲3,077	▲3.4	96,089	+617	+0.6	95,620	+9,693	+11.3
減価償却費	15,398	+161	+1.1	10,740	▲1,524	▲12.4	11,683	▲1,578	▲11.9	13,105	▲1,051	▲7.4	13,332	▲2,066	▲13.4
合計	440,797	▲6,140	▲1.4	450,687	▲2,352	▲0.5	468,799	▲5,250	▲1.1	506,549	+18,323	+3.8	471,259	+30,461	+6.9
内部仕入消去	▲62,998	+236	-	▲68,625	▲3,413	-	▲71,709	▲3,744	-	▲79,772	▲5,281	-	▲73,442	▲10,443	-
営業費用	377,798	▲5,903	▲1.5	382,062	▲5,765	▲1.5	397,089	▲8,994	▲2.2	426,776	+13,041	+3.2	397,817	+20,018	+5.3
営業利益	▲5,375	+10,621	-	9,953	+16,054	-	16,962	+4,647	+37.7	62,831	+18,968	+43.2	2,374	+7,749	-

# 21. 2022年3月期 連結業績予想

～2021年3月期

旧セグメント

デリバリー事業  
BIZプロジ事業  
フィナンシャル事業  
eビジネス事業  
ホームコンビニエンス事業  
オートワークス事業  
その他

顧客起点の全体最適な経営体制へ

2022年3月期～

新セグメント

リテール部門

法人部門

その他

# 22. 2022年3月期 連結業績予想 (セグメント別内訳)

(百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比較	
			増減	伸率 (%)
			営業収益	1,695,867
リテール	—	760,700	—	—
法人	—	926,300	—	—
その他	—	88,000	—	—
営業利益	92,121	95,000	+ 2,878	+ 3.1
リテール	—	89,000	—	—
法人	—	37,000	—	—
その他	—	126,000	—	—
小計	—	126,000	—	—
連結仕訳	—	▲ 31,000	—	—
経常利益	94,019	95,000	+ 980	+ 1.0
(利益率)	5.5%	5.4%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	56,700	53,000	▲ 3,700	▲ 6.5
(利益率)	3.3%	3.0%	-	-

数量 (千個)	宅配便(宅急便・宅急便コンパクト・EAZY)	1,803,676	1,890,000	+ 86,323	+ 4.8
	EAZY	178,830	400,000	+ 221,169	+ 123.7
	ネコポス	293,317	410,000	+ 116,682	+ 39.8
	クロネコDM便	826,032	650,000	▲ 176,032	▲ 21.3
単価 (円)	宅配便(宅急便・宅急便コンパクト・EAZY)	704	699	▲ 5	▲ 0.7
	ネコポス	195	195	0	0.0
	クロネコDM便	67	68	+ 1	+ 1.5

## <ご留意事項>

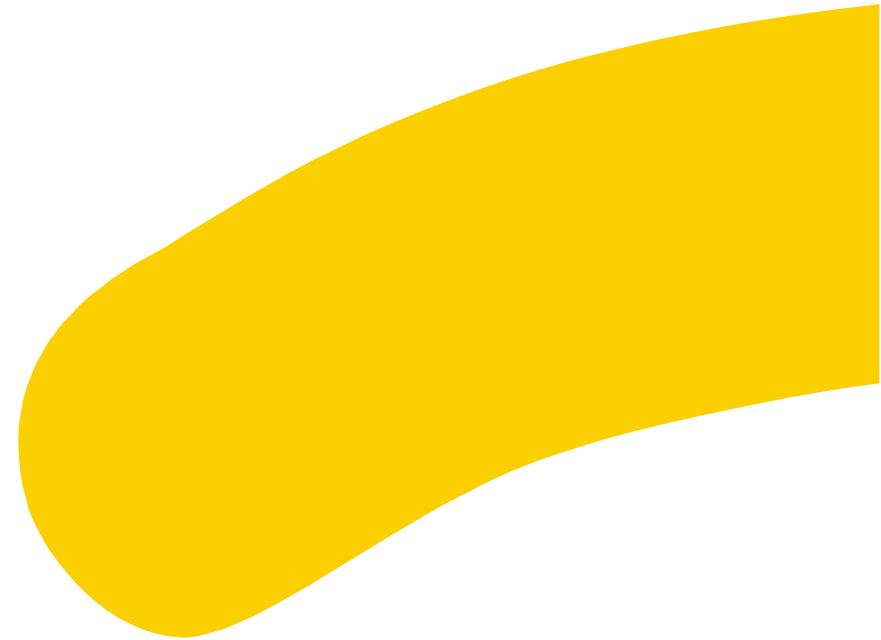
・お示したセグメント(リテール・法人)別予想数値は、現時点での参考値です。今期は「Oneヤマト」新体制初年度のため、今後、事業運営の最適化を進める中で、経営実態に合わせて変動する可能性があります。

(百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期		
		予想	増減	伸率 (%)
営業収益	1,695,867	1,775,000	+79,132	+4.7
下払経費	612,003	603,000	▲9,003	▲1.5
委託費	268,768	275,000	+6,231	+2.3
集配委託	62,424	80,000	+17,575	+28.2
作業委託	30,261	29,300	▲961	▲3.2
その他	176,082	165,700	▲10,382	▲5.9
備車費	204,399	210,000	+5,600	+2.7
その他	138,835	118,000	▲20,835	▲15.0
人件費	877,785	892,000	+14,214	+1.6
社員給料	590,080	602,000	+11,919	+2.0
法定福利費	109,151	112,000	+2,848	+2.6
退職給付費用	20,165	21,000	+834	+4.1
賞与・その他	158,387	157,000	▲1,387	▲0.9
車両費	43,973	47,000	+3,026	+6.9
その他経費	363,531	389,000	+25,468	+7.0
減価償却費	48,861	49,000	+138	+0.3
システム関連費用	47,906	63,000	+15,093	+31.5
その他	266,763	277,000	+10,236	+3.8
合計	1,897,294	1,931,000	+33,705	+1.8
内部仕入消去	▲293,548	▲251,000	+42,548	-
営業費用	1,603,745	1,680,000	+76,254	+4.8
営業利益	92,121	95,000	+2,878	+3.1
従業員数合計（人）	223,191	230,000	+6,809	+3.1
フルタイム	96,829	97,900	+1,071	+1.1
パートタイム	126,362	132,100	+5,738	+4.5
設備投資総額（百万円）	50,846	140,000	+89,153	+175.3

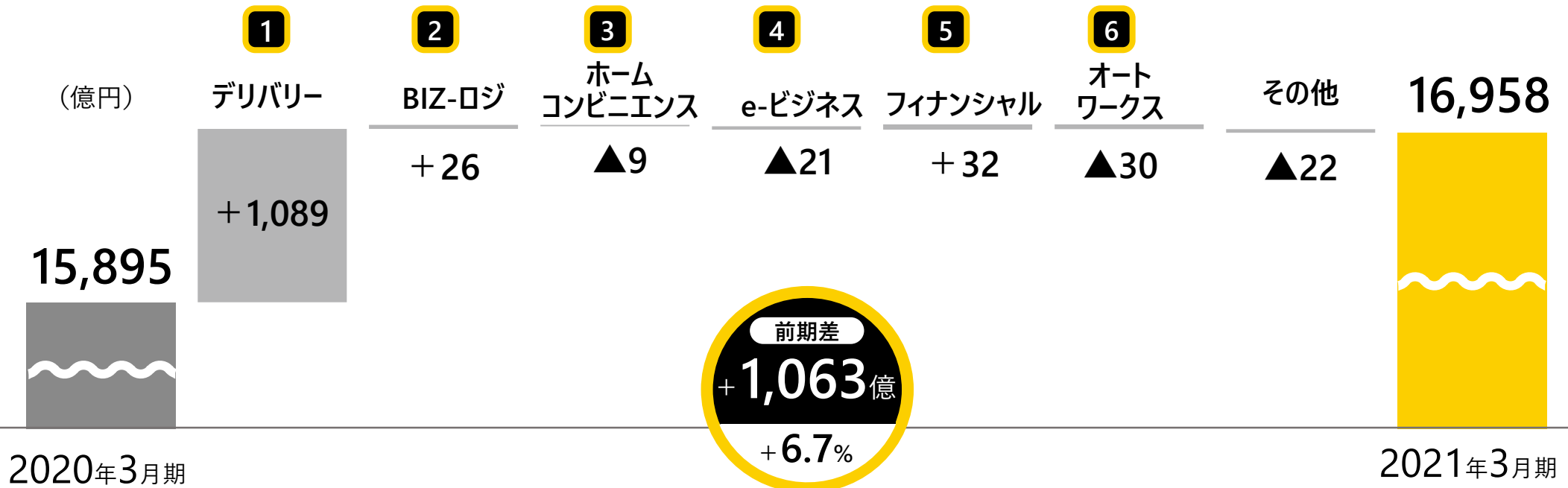
※上記数値には、グループ間支払額が含まれており、2022年3月期の予想数値には、ヤマト運輸へのグループ会社統合に伴うグループ間支払額の減少が含まれております。 23



# 參考資料



連結適用範囲変更（ヤマトリース株式会社）の影響控除後



### 1 デリバリー 宅配便 市場別数量

① 宅配便 (4商品合計)	宅配便 (4商品合計) 内訳
2,096,993千個 (+16.5%)	① 大口法人 972,365千個 (+16.3%)
② 宅急便 宅急便コンパクト EAZY 1,803,676千個 (+10.8%)	② リテール 1,124,628千個 (+16.7%) <リテール内訳>
③ ネコポス 293,317千個 (+70.0%)	・個人 144,126千個 (+10.5%)
	・小口法人 980,501千個 (+17.7%)

### 2 BIZ-ロジ

主要サブセグメント動向

① 国際物流 +83億 (+14.0%)
内訳
・貿易物流 +96億 (+23.2%)
・その他 ▲12億 (▲7.1%)
② 国内物流※ +1億 (+0.1%)
③ 消去・その他 ▲58億 (-%)

※BIZ-ロジ事業における事業区分の変更に伴い、表示を変更しております

### 3 ホームコンビニエンス

主要サブセグメント動向

① ホームコンビニエンス ▲16億 (▲4.1%)
② 消去・その他 +7億 (-%)

### 4 e-ビジネス

主要サブセグメント動向

① カードソリューション ▲6億 (▲6.0%)	③ e-通販ソリューション ▲12億 (▲20.0%)
② ITオペレーティング +1億 (+2.4%)	④ 消去・その他 ▲4億 (-%)

### 5 フィナンシャル

主要サブセグメント動向

① ペイメント +37億 (+12.8%)	② クレジットファイナンス ▲3億 (▲9.0%)
③ 消去・その他 ▲2億 (-%)	

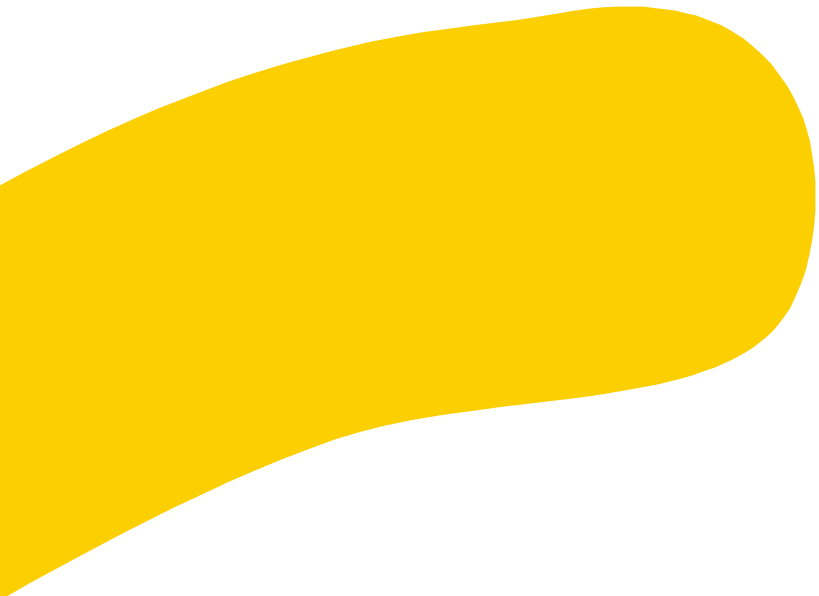
### 6 オートワークス

主要サブセグメント動向

①トラックソリューション ▲27億 (▲5.4%)
② 消去・その他 ▲3億 (-%)

(百万円)	2020年3月期 第4四半期 実績	2021年3月期 第4四半期 実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
			営業収益	293,519
下払経費	80,847	100,026	+ 19,178	+ 23.7
委託費	28,027	43,372	+ 15,344	+ 54.7
備車費	46,300	49,064	+ 2,764	+ 6.0
その他	6,519	7,589	+ 1,069	+ 16.4
人件費	176,840	181,808	+ 4,968	+ 2.8
社員給料	125,877	124,535	▲ 1,342	▲ 1.1
その他	50,962	57,273	+ 6,310	+ 12.4
車両費	9,056	8,388	▲ 667	▲ 7.4
燃料油脂費	4,512	3,984	▲ 528	▲ 11.7
その他経費	60,679	66,715	+ 6,035	+ 9.9
減価償却費	11,533	10,148	▲ 1,384	▲ 12.0
合計	327,424	356,939	+ 29,515	+ 9.0
内部仕入消去	▲ 26,348	▲ 29,821	▲ 3,473	-
営業費用	301,076	327,117	+ 26,041	+ 8.6
営業利益	▲ 7,556	556	+ 8,112	-

(百万円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
			営業収益	1,310,067
下払経費	354,729	394,783	+40,054	+11.3
委託費	131,208	163,599	+32,391	+24.7
備車費	194,922	199,277	+4,355	+2.2
その他	28,597	31,906	+3,308	+11.6
人件費	739,928	766,656	+26,728	+3.6
社員給料	515,299	516,247	+948	+0.2
その他	224,629	250,408	+25,779	+11.5
車両費	42,645	39,669	▲2,976	▲7.0
燃料油脂費	19,901	16,779	▲3,121	▲15.7
その他経費	256,711	260,252	+3,540	+1.4
減価償却費	40,562	37,258	▲3,303	▲8.1
合計	1,394,015	1,461,362	+67,347	+4.8
内部仕入消去	▲111,197	▲119,564	▲8,367	-
営業費用	1,282,817	1,341,797	+58,979	+4.6
営業利益	27,249	77,195	+49,945	+183.3



## 免責事項

この内容は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。提供情報の内容については万全を期しておりますが、完全性、正確性を保証するものではありません。いかなる情報も、不的確な記載や誤植等を含む可能性があります。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご承知ください。